

外環の収支見直し

(前回協議会でご紹介した一部道路の建設費や年間維持管理費の補足)

外環の現在事業中区間の2025(平成37)年度断面における収支見直しは下表のようになっております。特に、松戸～市川間は掘割スリット構造で計画されていますので、大深度で検討されている練馬～世田谷間の必要性を考える上で参考になると思います。

松戸～市川間10kmで収入40億円の見込みに対し、管理費6億円、金利が223億円で収支率が573%。分かりやすく言うと、100円の収益を上げるのに573円の費用がかかる見直しです。

なお、赤字でよく問題にされている東京湾アクアラインの収支率は336%となっています。

■ 2025(平成37)年度断面収支見直し

単位:億円

	区間	総事業費	収入	管理費	金利	収支率
外環道	三郷～三郷南	1200	24	3	23	108
	三郷南～松戸	1870	20	3	40	215
	松戸～市川	9700	40	6	223	573

以上/2003.7.24 江崎美枝子

添付資料:日本道路公団「建設中高速道路の進捗状況」第12回道路関係四公団
民営化推進委員会資料より一部抜粋

